

編 集 後 記

平成28年度も終盤戦に突入し、皆様の教育・研究活動も大詰めを迎えて多忙な日々をお過ごしのこととお察しいたします。本年度も、北海道医療大学歯学雑誌に論文等の投稿並びにお忙しい中、論文の査読をお引き受けいただきました先生方のご支援ご協力を深く感謝申し上げます。

2016年の本学歯学部の特ピックスの一つとしては、基礎系分野が主幹として北海道（札幌コンベンションセンター）で行われた第58回歯科基礎医学会学術大会が挙げられます。本会では生化学分野の田隈泰信先生を会頭とし、サテライトシンポジウムを含めた3日間に及ぶ学術発表、特別講演並びに懇親会が、歯学会並びに歯学部同窓会のご支援をいただき成功裡に催されました。また、本学術大会では本学歯学部5年生の関有里さんと石田成美さんの研究発表がモリタ賞・優秀学生ポスター賞を見事受賞し、基礎系分野に喜ばしく、フレッシュなニュースを提供してくれました。さらに、本学術大会の前日には、斎藤隆史先生をはじめとする臨床系分野が主体となり、第1回北海道個性差口腔健康科学シンポジウムが開催され、海外提携大学の学生並びに職員との熱心な議論や情報交換が行われました。これらは、本学歯学部の今後の国内外での研究活動の発展の明るい未来を予見し、学生、教員並びに学部が一体となった研究・教育体制の一層の充実をもたらすことでしょう。

さて、本号では生理学分野の佐藤寿哉先生と薬理学分野の根津頭弘先生に原著論文を投稿していただきました。また、歯科矯正学分野の岡山三紀先生並びに病理学分野の森川哲郎先生からの症例報告を投稿していただき、若手の先生方の精力的な活躍を感じることが出来ました。次号以降も歯学雑誌のさらなる充実に努めていきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようどうかよろしくお願いいたします。(石井 記)

次号（第36巻，第1号）の発行は平成29年6月30日です。

投稿原稿募集の締め切りは平成29年3月31日必着と致します。期日厳守の上、ご投稿をお願いします。本誌投稿規定は、2016年第35巻，第2号の巻末をご参照ください。